

## 第4学年〇組 道徳学習指導案

指導者 ○ ○ ○ ○

- 1 主題名 感謝の気持ちをもって 中学年2-(4) 尊敬・感謝  
資料名 「工事のおじさん」 (光村図書)

### 2 主題設定の理由

- 本主題は、「生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。」ことを主な内容としている。「尊敬」とは、その人の地位や功績には関係なく、人間性に対して働く感情である。よい人間関係を築くには、互いを認め合うことが大切であり、その根底には相手への尊敬と感謝の気持ちが必要である。人々に支えられて自分が存在するという認識があって、はじめて尊敬と感謝の気持ちがうまれてくる。

そこで、周囲の人だけでなく、見えないところでわたしたちの暮らしを支えている人々がいることを理解し、その人々に対して尊敬・感謝の気持ちをもって接しようとする心情を養うことは大変意義深いと考える。

- 本学級の児童はお世話になっている人に感謝の心をもつことが大切だということは理解しており、何かをしてもらった時にお礼の言葉を伝えるということは分かっている。しかし、身近な教師や友達に何かをもらおうと「ありがとう」を口にする児童はいるが、当然のように受け取ったり恥ずかしさから顔も見ずに立ち去ったりする児童もいる。児童の普段の生活を支えてくれている下水工事の方々などに対しては、働いている姿に接することがあまりなく、感謝の気持ちは少ない。

そこで、自分が快適に生活しているのは、多くの人々に支えられているからであり、普段の生活ができること自体が人々に支えられていることに気付かせ、身の回りの人々、学校、広く地域社会の人々に尊敬と感謝の気持ちをもてるように育てていくことは意義深いと考える。

- 本資料は、下水工事の音に腹を立てていた主人公が、実際に工事現場を見ることで、そこで働く人々の苦勞を感じ取り、感謝と尊敬の気持ちをもつという話であり、公共のために働く人々に尊敬と感謝の気持ちをもって接しようとする心情を養う資料である。

本時指導にあたっては、自分のことしか考えていない「太郎」が、真冬の夜でもみんなのために働く人々の姿に触れ、感謝と尊敬の気持ちをもつようになることをとらえさせ、ねらいとする価値に迫っていきたい。導入段階では、価値への方向付けを容易にするために、普段は見ることのない、公共のために働く人々の写真を提示して、めあてを意識化させる。展開前段では、実際の工事の音を流して「太郎」の怒りの気持ちをとらえられるようにさせ、その後「かぜをひかないで。」と心の中で祈るようになる「太郎」の気持ちの変化に共感させる。そのために、道徳ノートの吹き出しに「太郎」の気持ちを出させながら、見えないところで働く人々へ感謝と尊敬の気持ちをもって接しようとする価値に迫らせる。展開後段では、価値の一般化を図るために、みんなのために働いている人々に感謝した経験について想起し、価値を内面的に自覚できるようにする。終末では、ゲストティーチャーの〇〇さんから自分の仕事に誇りをもって働いている話を聞き、今後の生活での価値に対する意識の継続を図る。

### 3 本時のねらい

公共のために働く人々の苦勞を知り、尊敬し感謝しようとする心情を養う

- 4 本時 平成20年11月19日(水) 第5校時 第4学年〇組教室に於いて

### 5 地域との関連(地域のひと・もの・ことの活用)

地域題材:ぬくもり 地域人材:福岡市環境局 〇〇〇〇さん

- 6 準備 資料「工事のおじさん」、挿絵、道徳ノート、写真

7 展開

|                  | 学 習 活 動  | 指 導 上 の 留 意 点   |
|------------------|--|---|
| 導<br>入           | <p>1 人のために働く写真を見て、気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 駅をよく使うけど、見たことなかった。</li> <li>○ 写真の他にも、まだまだあるよ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">めあて<br/>人のために働くことについて考えよう。</p> </div>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 価値への方向付けを図るために、人間の生活を支える多くの働く仕事があることに気付かせる。</li> </ul>   |
| 展<br>開<br>前<br>段 | <p>2 「工事のおじさん」を読んで、話し合う。</p> <p>(1) 「太郎」は工事の音でよく眠れなかった朝、どんな気持ちだったか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ うるさくて、めいわくだ。</li> <li>○ なんでわざわざ夜に工事なんかするんだ。</li> <li>○ ゆっくりねむらせてくれ。</li> </ul> <p>(2) 「太郎」は、「父」に「下水工事のひとたちこそ、ゆっくりねむりたいのではないかな。」と言われたとき、どんなことを思ったか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ お父さんはうるさくなかったのかな。</li> <li>○ 知らない人より、自分のことを考えてよ。</li> <li>○ ぼくも工事を見にいってみようかな。</li> </ul> <p>(3) 家に帰るとき工事の音はあまり気にならなくなっていた「太郎」の気持ちを考え、吹き出しに書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">真冬の夜に働く人たちを見た太郎が工事の音があまり気にならなくなったのは、どんな気持ちになったからでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 寒い中、工事をしている人たちの苦労がわかった。少しぐらいがまんしなきゃ。</li> <li>○ 自分たちのために働いてくれている。ありがたいなあ。</li> <li>○ あんなふうには人の役に立ちたいな。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料を児童が容易に理解できるように教師があらすじを説明する。</li> <li>○ 工事のうるさい音で眠れなかったことによる怒りの気持ちをとらえられるよう、実際の工事の音を流し、動作化する。</li> <li>○ 素直に「はい」と言えないけれど、父親の言葉に気持ちが動いたこともとらえられるように、板書に色をつけて気持ちの揺れを見られるようにする。</li> <li>○ 児童の「太郎」への共感的な理解を深めるために、道徳ノートの吹き出しに気持ちを書かせるようにする。</li> <li>○ 朝の「太郎」の気持ちと比較して考えさせることで、気持ちの変化を板書に位置づけ、工事のおじさんの苦労を理解し、尊敬と感謝の気持ちが生まれてきたことをとらえることができるようにする。</li> </ul> |
| 展<br>開<br>後<br>段 | <p>3 みんなのために働いている人たちに「ありがとう」という気持ちをもった経験について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 駅やトイレなど、みんなが使う場所をそうじしてくれている。</li> <li>○ 火事があったときは、消防車が来て火を消してくれる。</li> <li>○ ゴミを真夜中に集めてくれている。</li> <li>○ 目に見えないところでも働いている人の支えがあるから生活できているんだね。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ねらいとする、公共のために働く人々への尊敬と感謝の気持ちを内面的に自覚することができるように、これまでの経験やその時の気持ちを想起させる。</li> <li>○ 児童が想起しやすいように、導入で掲示した働く人々の写真をもう一度ふり返る。</li> </ul>  |
| 終<br>末           | <p>4 ゲストティーチャーの話聞く。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公共の仕事に携わる苦労や喜び、仕事に対する誇りなどをゲストティーチャーから聞き、みんなのために働く人々に対しての感謝や尊敬の気持ちへの継続を図る。</li> </ul>   |

8 板書計画

みんなのために働いている人たちに「ありがとう」

めあて  
こびりついたガムも  
電車の中を気持ちよく

「工事のおじさん」

○「下水道工事の人たちこそゆつくりねむりたいのでは」と  
言われたときの太郎の気持ち

お父さんはうるさくなかったのかな。  
知らないおじさんより、ぼくのことを考えてよ。  
工事を見にいつてみようかな。

○工事の音があまり気にならなくなっていった太郎の気持ち

少しぐらいの音はがまんしなまわ。  
寒い中、みんなのために働いてくれて  
いるんだ。ありがたいなあ。  
自分のことばかり考えてはずかしい。  
あんな人になりたいな。

9 道徳ノート

道徳ノート  
四年 組 ( )

めあて  
人のために働くことについて考えよう

工事のおじさん

○ 夜に工事の現場を見に行つて、工事の音があまり  
気にならなくなった太郎の気持ち

◎ みんなのために働いている人たちに「ありがとう」という  
気持ちをもったことを思い出してみよう。